

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	農村振興局 農村政策部 中山間地域振興課	連絡先	0 3 - 3 5 0 2 - 6 2 8 6
所管する業務の概要	・ 中山間地域振興施策の企画立案 ・ 中山間地域等直接支払制度 ・ バイオマス関連事業の実施		

1. 基本的な心構え・行動			
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策	
・ 部局横断的に関連事業を把握し、省全体の政策、事業内容の理解を深めるように心がけている。 ・ 来訪者や電話等への対応を職員が互いに確認しあう等、接遇の向上に努めている。 ・ 国民からの意見、要請に対しては、丁寧かつ迅速な対応と課内や現地（農政局）との情報の共有化（速やかな報告）に努めている。		・ 業務の集中によりＨＰへの情報掲載に遅れを生じたことから、業務量の変化に応じた担当業務の分散について再確認を行った。	
・ 中山間地域の果たしている役割について、都市住民も含めわかりやすく説明できるよう、イラストや換算評価額での説明資料を活用している。 ・ ＨＰを活用し、国民に対して政策情報を提供するとともに、制度に対する意見募集も行っている。			
・ 農業法人からの施策提案を受けたが、手紙により回答したところ、後日、電話にて懇切な対応に感謝する旨連絡をうけた。 ・ 意見、要請等については、可能な限り、直接会って話を聞く等の対応を心がけている。		・ 国民からの問い合わせ等について記録し、情報共有する仕組みについて再度周知徹底を図った。	
・ 国民からの照会に対しては、相手が必要としている情報に			

的確に回答するため、係の担当業務だけではなく、他課の担当業務や現地（関係市役所等）に確認した情報も含めて回答するように努めている。

2. 政策・事業等の企画立案・推進

・現在行っている取組や工夫

- ・国民の政策ニーズ等を把握するため、HPによる意見等の受付、事業実施後のアンケート調査、現地調査等を実施。また、中山間地域等総合対策検討会の構成員については、国民各層（学識経験者、ジャーナリスト、消費者、経済界、地方行政）を代表する幅広い分野の構成員で検討頂いた。
- ・現地調査の際には、農業者や地元代表者の意見を聴く機会をつくることに努めている。
- ・関係部署との連携強化のため、メール、電話のみの対応とせず、直接意見交換等を行うように努めている。また、取りまとめた資料を関係部局に周知し、情報共有を図っている。
- ・当課施策のパンフレット等PR資料について、事業担当者以外（総務担当者）が国民にわかりやすい資料となっているかチェックすることとしている。
- ・説明用の資料は、一般的に見て判りやすいように、図・写真等を用いるなど、視覚で判るような工夫を心がけている。また、説明資料について、質問等があれば速やかに問合せができるよう連絡先を明記している。

・点検によって得られた課題とその改善策

- ・課内職員の出張を通じて把握された現場の声についても課内全体の参考とするよう再度周知を図った。
- ・課内の資料作成時におけるチェックルールについて、再度周知徹底を図った。

3. リスク管理			
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策	
・ 業務に関して発生した問題については、その発生原因等を分析し、今後の業務に活かすため関係者との十分な議論、第三者からの意見聴取等を実施。		・ 外部から寄せられた情報に対し、その内容の分析、検証、情報共有について再周知を行った。	
・ ヒヤリ・ハット事例を日々の業務に置き換えて、見直しを行っている。 ・ 書面での確認の励行、関係部署・地方組織との密な連絡・報告による情報の共有化などの取組を実施。 ・ 事業者との事業管理に係る打合わせには十分な時間を割くように努めている。		・ ヒヤリ・ハット事例を参考に、同様の失敗を繰り返さないよう、常日頃から班内の話題に挙げるなど意識共有に心がける。 ・ 慣れによる作業等の形式化に対する注意喚起に努める。	

4. 食の安全に関する取組			
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策	
・ 食の安全に係る報道等については、内容を確認すると共に、担当業務に置き換えて業務確認を行うように努めている。 ・ 基盤整備事業が食料増産の土台となっており、その延長線上に「食の安全」があることを意識し、業務を遂行している。		・ 職員各自が、消費者でもあることを常に意識した業務遂行に努める。	

5. その他の重要な取組			
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策	